

— 目 次 —

- KTメディネットをご活用ください
- 地域医療連携
- PICK UP!
- 研修・セミナーのご案内
- 地域連携室より

KTメディネットをご活用ください

地域医療・総合相談センター長 田中 守嗣



日頃は当院の運営にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

当院では2012年10月に「KTメディネット」を立ち上げ、病診連携の大切なツールとして衣浦定住自立圏（刈谷市、知立市、高浜市、東浦町）の医療機関と展開してまいりました。当初の提携医療機関は113施設でしたが、2014年12月からは刈谷市歯科医師会の先生方にもご参加いただき、現在は医科118施設、歯科43施設とスムーズな病診連携を実現しています。

県内で同様のシステムを展開している19施設を調査しましたが、医師のカルテ情報まで公開しているのは当院を含めて5施設のみです。KTメディネットの利用率は医科で約60%、提携医療機関の数も150以上と、いずれも県内トップといっても過言ではありません。これから改善すべき点もありますが、先生方の日常の診療にお役立ていただけるものと考えております。

現在ご利用いただいていない施設の皆さま、是非一度「KTメディネット」の活用をご検討ください。今後とも何卒よろしく願いいたします。

● 地域医療連携 ●

「在宅呼吸ケア地域連携の会」の展開から

呼吸器・アレルギー内科 部長 加藤 聡之



1. なぜ「在宅呼吸ケア地域連携の会」だったのか

当科では、2010年9月より「在宅呼吸ケア地域連携の会」を開催しています。在宅酸素療法(HOT)に代表される在宅呼吸ケアは、医師だけでなく、看護師、理学療法士、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカーなど、さまざまなメディカルスタッフの協力によりチーム医療として発展してきました。

超高齢社会を迎えたわが国では、HOT患者さんも高齢の方が多くなり、介護施設や訪問看護ステーション、酸素業者を含めた地域呼吸ケアネットワークの形成が求められています。しかし、在宅呼吸ケアは呼吸器疾患や酸素療法など特有の専門性があり、必ずしも充実したケアが提供できていたとはいえませんでした。

そこで、「在宅呼吸ケア地域連携の会」を立ち上げ、平成27年8月までに12回開催してまいりました。在宅呼吸ケアに関わる医療・介護従事者などによる協働ネットワークの構築を推進し、専門知識・技量・コミュニケーション力を向上させて、地域全体で高品質なサービスを提供することを目指しています。

2. 地域包括ケアの観点から見る地域連携

「在宅呼吸ケア地域連携の会」を通して、地域に存在する具体的な課題が徐々に明らかになってきました。

■ 主な課題

- 呼吸器疾患の病態や病状が分からない
- HOTの意義や酸素機器の取り扱いが分からない
- 連携不足でサービスに自信が持てない
- 知識や情報不足により信頼関係に悪影響がある
- 主治医との連携が不足している、また連携方法が分からない

これらの課題は、特定の職種が抱えているわけではなく、どの職種においても存在しています。そして、参加されたほとんどの方がこうした現状を改善したいと考え、知識習得・情報共有の手段を求めていました。

こうしたことは、呼吸器疾患や在宅呼吸ケアに限らず、他疾患または高齢者の介護全体においても同じように当てはまるものです。すなわち、地域全体での包括ケアにおいても全く同じ現状・課題が存在すると推測されます。

地域包括ケアシステム構築に向けてさまざまな取り組みが行われています。システムの構築を進めながら、現場における**具体的で現実的な課題の解決や改善**も同時に進めていく必要があるのではないのでしょうか。

3. 地域協働・連携... 今後の展開への提言

地域におけるさまざまなサービスは、それぞれの患者さんに合わせて多職種から提供されます。職種ごとに目的や観点が異なるため、知識や情報もおのずと異なります。そのため、関係者全員で自身の役割やサービスの目的などについて「認識の共通化」がされていることが前提条件となります。

「情報の共有」が重要視されがちですが、それは連携する上で基礎的な部分であり、共有できていて当然なのです。もっと大切なのは「(統合的な) **目的の共有**」だと考えますが、果たして現在、十分にできているといえるでしょうか。

医療と介護はサービスの両輪で、どちらかが欠けたり少なかったりすればサービスの品質が下がります。そして、その影響を直接受けるのは患者さんや利用者さんに他なりません。医療職と介護職が連携し、変化する状況に応じて修正・改善をするためには、医療職と介護職が常時コミュニケーションをとる必要があります。

「顔が見える連携」という言葉をよく耳にしますが、「顔が見える」だけでは不十分だと考えています。より大切なのは、その先にある「**コミュニケーションがとれる協働**」を目指すことではないのでしょうか。顔が見えても、コミュニケーションがなければ各職種が力を発揮して高品質なサービスを提供することはできません。

私たちはまず、「なぜ地域連携・協働を行うのか」ということに対して、具体的な目的を明確に意識しなければなりません。そしてその目的を実現するためにどのように行動するのか、その結果、何が出来るのかという考え方で進めることができれば、きっと効率よく、高品質な地域連携につながるものと思っています。

在宅呼吸ケア地域連携の会で皆さまとともに学んだことを今後もさまざまな形で発展・展開し、地域連携に貢献する取り組みを進めてまいります。



◆ PICK UP ! ◆

栄養ケア地域連携の会のご紹介



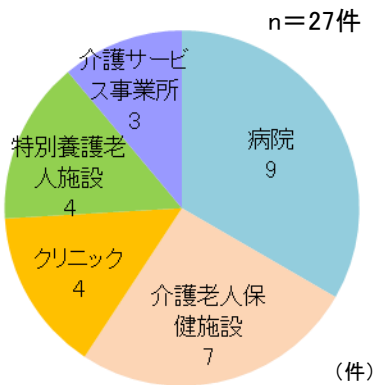
地域の医療機関・施設と栄養の連携を深める

高齢の方の栄養管理は、その多くが療養施設や在宅医療へと引き継がれることとなるため、病病連携、病診連携が重要です。栄養管理の地域連携において、共通言語となるツールの活用が必要と考え「栄養ケア地域連携の会」を開催していますので紹介します。

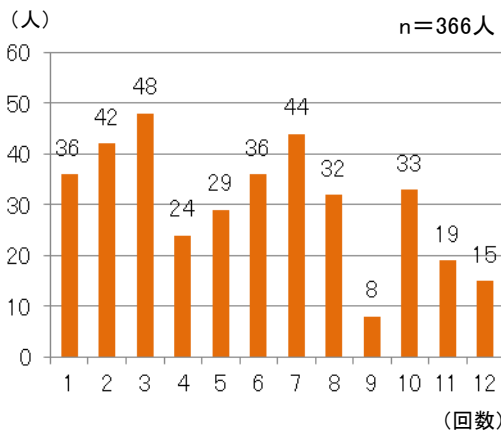
参加状況

(2011年1月～2015年9月現在)

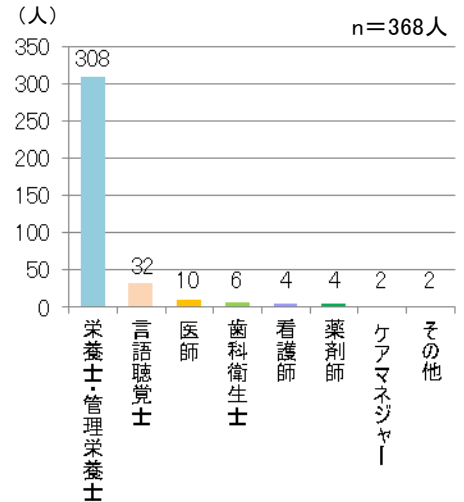
■ 施設数



■ 人数



◆ 延べスタッフ人数の内訳



内容

■ 連携施設の栄養管理の紹介



■ 嚥下食レベル検討会



■ 施設間共有嚥下食一覧表の作成

—その他の取り組み—

- ・ 栄養情報提供書の作成と運用
 - ・ 事例検討会
 - ・ 講演会
- など

栄養ケア地域連携の会に参加を希望される方には案内をお渡しいたします。お気軽にご連絡ください。

◆ 次回開催予定 : 【日時】平成28年2月1日(月)午後6時～ 【場所】診療棟5階 第3会議室

刈谷豊田総合病院 栄養サポートチーム

Tel : 0566-25-8387(内線2961)
mail : KTGH.Eiyou@toyota-kai.or.jp

研修・セミナーのご案内

● 刈谷緩和ケアセミナー

緩和ケアに関する講演会

【日 時】 平成27年11月25日(水) 午後5時30分～7時(予定)

【会 場】 診療棟5階 第1・2会議室

【対象者】 院内外の医療・介護・福祉関係者(事前申し込み不要)

● スペシャリスト研修

看護ケアについて専門領域の知識・技術を共に学び、質の高い看護について語り合う研修会

【日 時】 平成27年12月12日(土) 午後1時～午後3時30分

【会 場】 診療棟5階 会議室

【対象者】 医療・介護・福祉関係者

【内 容】 救急看護、摂食・嚥下障害看護、認知症看護、感染管理、皮膚・排泄ケアなど

【問い合わせ】 0566-25-7340 <看護部(担当:新中崎)>

● 刈谷がん化学療法セミナー

がん化学療法に関する講演会

【日 時】 平成28年1月14日(木) 午後5時30分～7時(予定)

【会 場】 診療棟5階 第1・2会議室

【対象者】 院内外の医療・介護・福祉関係者(事前申し込み不要)

● 訪問看護呼吸ケア勉強会

肺機能が弱い患者さんや在宅酸素療法を行っている患者さんのより良い訪問看護ケアのための勉強会

【日 時】 平成28年1月15日(金) 午後6時～7時

【会 場】 診療棟5階 第3会議室

【対象者】 主に在宅呼吸ケアに関わる訪問看護ステーションスタッフ

【問い合わせ】 0566-25-8304 <地域連携室>

● 在宅呼吸ケア地域連携の会

肺機能が弱い患者さんや在宅酸素療法を行っている患者さんのよりよい在宅ケアサービスが多職種で提供できるよう地域連携を進めていくための会

【日 時】 平成28年2月27日(土) 午前10時～12時

【会 場】 診療棟5階 第1・2会議室

【対象者】 在宅呼吸ケアに関わる医療・介護スタッフ

【問い合わせ】 0566-25-8304 <地域連携室>

● がん診療に携わる医師のための緩和ケア研修会(PEACE project)

がん診療に携わる2次医療圏内の医師を対象に、緩和ケアの基本事項について、講義・グループワーク・ロールプレイの3つの形式で研修します。(2日間の修了者には厚生労働省の修了証が発行されます)

【日 時】 第1回 平成27年11月22日(日)・23日(月・祝) いずれも午前9時～午後5時

第2回 平成28年2月27日(土)・28日(日) いずれも午前9時～午後5時

【会 場】 診療棟5階 第1・2会議室

【対象者】 がん診療に携わる2次医療圏内の医師(各回定員24名)

第1回は募集終了。第2回は今後ホームページなどで募集予定。

● 刈谷連携キャンパス(KRC)

【テーマ】 「糖尿病(仮)」

【日 時】 平成28年3月5日(土) 午後2時30分～4時

【会 場】 診療棟5階 第1・2会議室

【対象者】 医療・介護・福祉関係者

【問い合わせ】 0566-25-8025 <リハビリテーション科>

■ 地域連携室より ■

「地連ほっとLINE」第2号は、情報満載で読み応えのある内容となりました。

地域連携室には、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士も所属し、多職種連携を実践しています。この広報誌も多くの方々と共に作り上げたいと思っております。ご意見・投稿をお待ちしています。

